

「高所捕鳥用移動足場」を作製

10月4日に南丹管内で高病原性鳥インフルエンザ総合防疫演習農場実地訓練が開催され、当センターが作製した「高所捕鳥用移動足場」が好評を博しました。

鳥インフルエンザの発生時には、殺処分を迅速に行うため、鶏をケージから取り出して容器に入れ運搬する一連の作業をスムーズに行う必要があります。

足場は高さ3mの5段直立式ケージを想定し、3段目以上のケージの鶏の取り出しと人と容器が下を通過できるように作業床の高さを150cmとするなど工夫をしました。

訓練では、「取り出し」、「投入」、「運搬」の作業が効率的にできたので、今後は、他の農場にも対応できるように改良を加えます。



台車の仕様

(高さ×幅×奥行き:246cm×80cm×132cm、キャスター(ストップ付)耐荷重380kg、本体重量70kg)

捕鳥作業の様子(鶏をボイド管に投入し
容器に収容後、足場の下を通過して搬出する)